



いたびつ
板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和5年11月21日(火)発行

校長 栗原 博 巳

北九州市小倉北区白萩町8番1号

HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

避難訓練 (竜巻) を実施しました!



期末考査の最終日、11月17日(金)4校時に避難訓練(竜巻)を実施しました。火災、地震、不審者対応などの訓練は多くの小中学校で実施しています。竜巻については、校長先生が板櫃中に勤務していた時に始めました(その時は、メディアが取材に来ました)。初めての訓練でしたが、きちんと参加できたでしょうか。3年生は、先生の指示に従って、一生懸命取り組んでいました。



避難訓練 校長先生の話 11月17日

板櫃中の生徒のみなさん、こんにちは。今日は、竜巻を想定した避難訓練を行いました。避難訓練を行う意味は、言うまでもなく、地震や火事、水害といった様々な災害から自分の身を守ることです。災害が起きてから「どうしたらいいのか」を考えているようでは、もはや手遅れです。実際に避難訓練をしてみて問題点が見えてきます。ある日突然やってく災害に対処できるよう、想像力を働かせて避難してほしいと思います。先生からは、3つのことをお話します。

1点目は、想定外を想定するということです。自然災害が非常に多くなっています。竜巻が起こる、バケツの水をひっくり返したような雨が降る、一晩で除雪が間に合わないほどの雪が降る、というのは、これまであり得なかったことです。最近、このような自然災害が身近で起きているのです。想定外を想定して行動し危険から自分の身を守ってほしいと思います。

2点目は、他人事ではなく、自分事と考えることです。ニュースで、放火事件があって多くの命が奪われた、不審者が学校に侵入して多くの生徒が傷つけられた、マラソン大会で爆発物が仕掛けられ多くの市民が犠牲になった等の事件が過去に報道されました。他人に起こっていることは、自分にも起こりうることに捉えて、自分自身を守ってほしいと思います。

3点目は、危機には、迅速な行動が必要だということです。自分は大丈夫だと簡単に考えないで、状況を冷静に分析して、どう行動するのがベストかを判断し、適切で迅速な行動をしてほしいと思います。あと15秒早かったら助っていたのにということがないように、素早く非難することが重要です。また、自分の命があって、はじめて人の命を助けられるものです。もちろん、人の命も大切ですが、まずは自分の命を守り抜くことを第一に考えて行動してください。

訓練にまじめに取り組むことが、「自分の命を守る」最初の1歩です。これからも命を守る避難訓練には真剣に、まじめに参加してください。

避難訓練とは別に大切な話をします。11月16日(木)の朝、北九州市内の市道で、通学中の小学5年生が通行中の乗用車にはねられる、大変痛ましい事故が発生しました。板櫃中の周辺も交通量が多く、住宅地内でも危険な場所があります。いつ、だれが、自動車の交通事故に巻き込まれるかもしれません。今から話すことを守って自分自身の命を守りましょう。

- ① 交通ルールを守り、登下校の際はふざけたり、遊んだりしながら登下校しないこと。
- ② 歩道を歩く際は、広がらず、できるだけ車道から離れた場所を歩くこと。
- ③ 歩道がない道路やガードレールが設置されていない歩道を通行する際は、特に自動車等、周囲の状況に気を付けて歩くこと。

休みの日に自転車などで出かけるときも気を付けてください。これで、先生の話が終わります。